

7 くらしを豊かにするデジタル技術の効果的な活用

○納付手続のキャッシュレス化の推進【一部新規】

(デジタル推進課・出納局・情報システム課等)

145,000千円 (R4 43,900千円)

金融機関の窓口や収入証紙などを利用している手数料などの各種納付手続について、県民が簡単・即時に決済できるよう、デジタル技術を活用しキャッシュレス化を進めます。

令和5年度に新たに実施する内容 (主なもの)	時 期
運転免許証交付事務や博物館入館料等の対面による手数料等の支払い時にマルチ決済端末によるキャッシュレス決済を新たに導入します。	(運転免許等警察関連事務) R5. 12月～ (その他) R5. 10月～
道路使用料等の納付書による納付手続における決済手段にクレジットカードやスマホアプリ決済等を追加し、支払手段の多様化を図ります。	R6. 3月～
県立学校の卒業・成績証明書等の電子申請によるオンライン手続時の決済手段にクレジットカードやスマホアプリ決済を追加し、支払手段の多様化を図ります。	R5. 10月～

[内訳]

- ・システム改修費等 99,614千円
- ・サービス利用料等 45,386千円

○県立学校の入試手続のオンライン・キャッシュレス化 (学習指導課)

8,095千円

志願者の利便性向上を図るため、令和4年度から段階的に進めている県立学校の入試手続のオンライン・キャッシュレス化について、令和6年度の全校実施に向け、民間のオンライン出願サービスを活用し、対象校を拡大します。

[対 象 校] 4校→14校 (県立中学校2校、県立高校2校→12校)

※Pay-easy (ペイジー) に加え、クレジットカードやコンビニ決済に対応

○運転免許手続の利便性向上【一部新規】〔一部再掲〕

(警察本部運転免許課、交通総務課)

880,149千円 (R4 3,761千円)

(債務負担行為 185,000千円)

令和5年12月からの国の新たな運転免許システムの運用開始に合わせ、免許手続の簡易化・自動化及び手数料納付のキャッシュレス化により、免許交付時の混雑緩和や更新時間の短縮、支払い手段の効率化を図るため、令和4年度に引き続き事前予約システムや申請自動受付機の整備を進めます。

また、木更津警察署において、高齢者講習及びオンライン講習の修了者を対象に、更新免許の即日交付の試行運用を開始します。

○電子契約実証事業【新規】(デジタル推進課)

4,200千円

「紙の書面と押印」による従来の契約書に変えて、「電子データと電子署名」による電子契約を導入するため、令和5年度に実証事業を実施します。

[事業内容]

- ・サービス導入に向けた実証委託 2,200千円
- ・初期設定及びシステム利用料 2,000千円

○市町村デジタル推進支援事業(デジタル戦略課)

29,500千円 (R4 29,500千円)

民間のデジタル専門人材を活用しながら、市町村が行うシステム標準化・共通化などのデジタル化の取組に対して、システム開発や業務フロー改善等に係る専門的・技術的支援を行います。また、県全体のデジタル化の推進を図るため、デジタル技術の県と市町村の共同利用を検討していきます。

○デジタル技術の活用等による業務改革の推進【一部新規】（総務課・デジタル推進課）

173,623千円（R4 104,134千円）

デジタル技術の活用等を通じて、県民サービスの一層の向上や県庁におけるDXの推進・業務改革を図ります。

[主な内容]

1 行政手続のオンライン化推進事業 27,000千円

行政手続のうち、プロセスが複雑なものを除いた手続のオンライン化を進めるため、必要な研修及びフォローアップを実施します。

2 デジタル化・業務プロセス改善アドバイザー事業 20,000千円

庁内で業務プロセス改善を進める職員が課題に適切に対応できるように、民間の専門人材によるアドバイザーを設置します。

3 オフィス改革実証事業【新規】 30,000千円

ペーパーレス化の推進や在宅勤務など、働き方が多様化する中、効率的な業務運営に向けた執務室のあり方等を検討するため、実証事業を実施します。

[取組内容]

- ・オフィス改革推進事業支援業務委託 20,000千円
- ・執務室のあり方や働き方に係る実証事業 10,000千円

4 ICTツールを活用した業務改革 96,623千円

デジタル技術を活用して、事務処理時間の削減を行うなど、県庁内の業務改革・働き方改革を推進します。

[主なもの]

- ・RPA、ローコード開発ツール等の運用 37,961千円
RPAによる定型的な業務の自動化や職員自ら簡単にシステムやアプリケーションが構築できるローコード開発ツール等を活用し、業務効率化を図ります。
- ・ビジネスチャットの運用 1,848千円
県と市町村等との効率的な連携を図るため、業務等で頻繁な連携が必要な業務について、ビジネスチャットを活用した情報共有を試験的に実施します。

○議会業務 I C T化推進事業【一部新規】（議会事務局） 24,800 千円（R4 7,300 千円）

クラウド上での議員との議会資料等の共有、感染症拡大時等におけるオンラインでの委員会開催に向けた環境整備など、デジタル技術を活用した議会業務の I C T化、ペーパーレス化を進めます。

[内訳]

- ・議員用の公用タブレットの導入（新規） 12,155 千円
- ・議会棟 Wi-Fi 及びファイル共有サーバーの運用 9,880 千円
- ・オンライン委員会用の関連機器の導入（新規） 2,765 千円

[参考：令和4年度2月補正予算案計上事業（国補正予算に伴うもの）]

○マイナンバーカード申請サポート事業【新規】（デジタル戦略課） 24,000千円

マイナンバーカードの更なる普及促進に向け、商業施設等への出張窓口の設置や高齢者施設等への訪問などにより、カードを取得していない県民の申請をサポートします。

[事業内容]

- ・出張サポート窓口の設置
- ・訪問申請サポートの実施

○マイナンバーカード申請サポート事業（デジタル戦略課） 60,000千円

令和4年度に引き続きマイナンバーカードを取得していない県民の申請をサポートします。

○インフラ分野のDXの推進【一部新規】〔一部再掲〕 371,750千円（R4 115,907千円）

1 ICT活用工事の推進

将来の担い手不足などの課題を抱える建設業において、デジタル技術の導入を促進し、生産性向上を図ります。

[主な事業]

- ・ BIM/CIMの試行拡大（技術管理課、道路整備課、河川整備課）

124,000千円（R4 38,140千円）

設計段階から3次元モデルを導入し、施工・維持管理までの事業全体にわたり活用することで、関係者間の情報共有を容易にし、業務の効率化・高度化を図ります。

令和5年度は北千葉道路のほか、銚子連絡道路、長生グリーンライン、一宮川流域浸水対策特別緊急事業にも導入します。

- ・ 3次元データ測定の試行拡大（河川整備課、港湾課） 55,000千円（R4 4,500千円）

海底等の測量を面的に行い、高精度な地形データを取得する3次元測量について、令和5年度は港湾施設のほか、新たに海岸侵食対策、ダム浚渫においても導入します。

- ・ 交通量調査におけるカメラ画像AI解析の試行【新規】（道路整備課） 40,000千円

交通量調査の効率化を図るため、事業者等とも連携しながら、カメラ画像をAI解析する調査を試行します。

2 インフラ管理や防災体制の推進

デジタル技術を活用した効率的なインフラ管理を進めるほか、事故・災害等の未然防止や初期対応の迅速化のため、センサー等を活用した遠隔監視や異常検知等を実施します。

[主な事業]

- ・ ドローンを活用したインフラ管理【新規】（県土整備政策課、技術管理課、河川環境課）

24,400千円

ドローンにより土木事務所等の現場確認業務を迅速かつ効率的に行うほか、河川管理においても、目視点検が困難な護岸などの点検を重点的に実施します。

- ・ 道路異常監視カメラの試行導入【新規】（道路環境課） 3,600千円

道路異常が発生した際の対応を的確かつ迅速に行うため、遠隔操作等が可能な道路照明灯に道路監視カメラを設置します。

令和5年度は、まずは交通の要衝部である県境の8橋梁に設置し、試行します。

- ・ 危機管理型水位計や河川監視カメラの増設〔再掲〕（河川環境課）

80,000千円（R4 22,000千円）

台風や豪雨等による水害が多発しており、よりきめ細かに河川の状況を監視する必要があることから、昨年度末に新たに指定・公表した洪水浸水想定区域図を踏まえ、小規模河川等への危機管理型水位計の設置を拡大するほか、河川監視カメラを増設することにより、水防体制の強化を図ります。

<その他のDX関連事業（再掲）>

○千葉県地域防災力充実・強化補助金（危機管理政策課）	250,000千円の一部 (R4 250,000千円の一部)
○発達障害児のためのオンライン診療推進モデル事業【新規】（医療整備課）	4,000千円
○介護事業所におけるICT・ロボット導入支援事業【一部新規】（高齢者福祉課）	271,000千円の一部 (R4 131,000千円の一部)
○ICTを活用した児童相談所業務改善事業（児童家庭課）	35,290千円 (R4 30,890千円)
○新モビリティサービス導入推進事業（交通計画課）	18,000千円 (R4 12,000千円)
○ちばの「新しい働き方」推進事業【一部新規】（雇用労働課）	50,000千円の一部 (R4 50,000千円の一部)
○Society5.0時代を支えるデジタル人材育成事業【新規】（学習指導課）	33,140千円
○私立高等学校等ICT環境整備事業（学事課）	160,000千円 (R4 160,000千円)
○「新たなスポーツ」の普及促進事業（生涯スポーツ振興課）	14,000千円の一部 (R4 8,500千円の一部)
○中小企業デジタル技術活用支援事業（産業振興課）	65,000千円 (R4 65,000千円)
○農林水産業におけるスマート化の推進【一部新規】 （生産振興課、担い手支援課、畜産課、水産課、森林課）	98,593千円 (R4 66,775千円)
1 スマート農業の推進	47,922千円 (R4 45,235千円)
2 スマート畜産推進事業	13,000千円 (R4 15,000千円)
3 スマート水産業推進事業	17,671千円 (R4 6,540千円)
4 スマート林業の推進【新規】	20,000千円
○学校DX推進パートナー配置事業【新規】（学習指導課）	35,000千円